

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載
 【部門区分】第3部門第2区分
 【発行日】平成20年6月5日(2008.6.5)

【公表番号】特表2003-531180(P2003-531180A)
 【公表日】平成15年10月21日(2003.10.21)
 【出願番号】特願2001-577990(P2001-577990)
 【国際特許分類】

A 6 1 K 45/00 (2006.01)
 A 6 1 K 31/382 (2006.01)
 A 6 1 P 19/00 (2006.01)
 A 6 1 P 19/02 (2006.01)
 A 6 1 P 19/10 (2006.01)
 C 0 7 D 335/06 (2006.01)

【F I】

A 6 1 K 45/00
 A 6 1 K 31/382
 A 6 1 P 19/00
 A 6 1 P 19/02
 A 6 1 P 19/10
 C 0 7 D 335/06

【手続補正書】

【提出日】平成20年4月18日(2008.4.18)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】特許請求の範囲

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】 軟骨または骨の疾患を治療するための医薬組成物であって、治療有効量のレチノイド受容体作用薬または医薬的に許容されるその塩またはエステルを含有する組成物。

【請求項2】 該レチノイド受容体作用薬が、RAR受容体作用薬または医薬的に許容されるその塩またはエステルである請求項1に記載の組成物。

【請求項3】 該RAR受容体作用薬が、RAR受容体作用薬または医薬的に許容されるその塩またはエステルである請求項2に記載の組成物。

【請求項4】 該疾患が骨格異形成である請求項1に記載の組成物。

【請求項5】 軟骨または骨の疾患に関連した症状を改善するための医薬組成物であって、治療有効量のレチノイド受容体作用薬を含有する組成物。

【請求項6】 該レチノイド受容体拮抗薬がRAR受容体作用薬である請求項5に記載の組成物。

【請求項7】 該RAR受容体作用薬がRAR受容体作用薬である請求項5に記載の組成物。

【請求項8】 骨原性細胞および骨芽細胞によって骨化を刺激するための医薬組成物であって、治療有効量のレチノイド受容体作用薬または医薬的に許容されるその塩またはエステルを含有する組成物。

【請求項9】 該レチノイド受容体作用薬が、RAR受容体作用薬または医薬的に許容されるその塩またはエステルである請求項8に記載の組成物。

【請求項10】 該RAR受容体作用薬が、RAR受容体作用薬または医薬的

に許容されるその塩またはエステルである請求項 8 に記載の組成物。

【請求項 1 1】 該疾患が骨粗鬆症である請求項 8 に記載の組成物。